

平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月24日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アオキスーパー

コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宇佐美 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長

(氏名) 大谷 亮

四半期報告書提出予定日 平成22年10月4日

配当支払開始予定日

TEL 0567-23-3500

平成22年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年2月21日～平成22年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	42,817	△5.2	291	△58.6	336	△53.7	90	△76.2
22年2月期第2四半期	45,163	—	703	—	727	—	379	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	6.75	6.73
22年2月期第2四半期	28.46	28.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	23,156	14,733	63.6	1,099.24
22年2月期	23,272	14,723	63.3	1,104.82

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 14,730百万円 22年2月期 14,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年2月期	—	10.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,700	△1.9	820	△56.2	890	△54.1	380	△65.1	28.35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期2Q 14,000,000株 22年2月期 14,000,000株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 597,121株 22年2月期 673,201株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期2Q 13,379,799株 22年2月期2Q 13,324,111株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、世界経済の改善や政府の経済対策により、企業業績の改善が続いております。しかしながら、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費の低迷、円高の進行やデフレなど、先行き不透明な状況となっております。

当流通業界におきましては、業種・業態を超えた値下げ等による店舗間競争がさらに激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況におきまして当社グループは、3月に高浜店・4月に朝宮店・5月に清城店をリニューアルオープンいたしました。

販売促進企画として、スクラッチお買物券プレゼント・中日劇場の観劇ご招待を実施いたしました。また、競合店対策のため、恒例となりました四半期に一度の大感謝祭・月に一度の日曜朝市・週に一度の100円均一等の企画を継続実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期は、営業収益428億17百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益2億91百万円(前年同期比58.6%減)、経常利益3億36百万円(前年同期比53.7%減)、四半期純利益90百万円(前年同期比76.2%減)と減収減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 食料品等の販売を目的とした小売業部門

低価格販売の実施や、店舗の改装を行い販売促進に努めましたが、物価下落や個人消費の低迷等により厳しい経営環境となり、営業収益は423億78百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は1億32百万円(前年同期比75.7%減)となりました。

② 不動産賃貸部門

店舗の改装等により、営業収益は4億38百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は1億58百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

(注)記載金額は、すべて消費税等を含まない金額としております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度に比べ、1億26百万円減少し、88億87百万円となりました。これは、主に現金及び預金及び商品の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ、10百万円増加し、142億68百万円となりました。これは、主に店舗等の設備投資によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べ、1億16百万円減少し、231億56百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度に比べ、28百万円減少し、62億8百万円となりました。これは、主に未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ、96百万円減少し、22億14百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度に比べ、1億25百万円減少し、84億23百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度に比べ、9百万円増加し、147億33百万円となりました。

また、1株当たり純資産額は、前連結会計年度に比べ、5円58銭減少し、1,099円24銭となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度に比べ、0.3ポイント増加いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の四半期末残高は、74億56百万円（前年同期比2.3%減）となりました。これは主に、フリーキャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いたもの）が、47百万円の増加となったこと、及び、財務活動によるキャッシュ・フローが1億8百万円減少したことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、6億91百万円となりました（前年同四半期連結累計期間は5億27百万円の資金の増加）。これは、主に営業収入によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、6億44百万円となりました（前年同四半期連結累計期間は6億66百万円の資金の減少）。これは、主に店舗等の設備投資によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、1億8百万円となりました（前年同四半期連結累計期間は3億42百万円の資金の減少）。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

引き続き厳しい状況が予想されますが、商品政策においては、鮮度・味・価格にこだわり、競合店対策としては、第2四半期より継続実施しております店舗・地域ごとのきめ細かな価格政策の取り組みにより、競合他社に負けない売場づくりに努めます。徹底したコスト削減や人材教育を通して経営体質の強化を図り、業績の向上を目指してまいります。

通期の業績見通しといたしましては、連結営業収益877億円（前年同期比1.9%減）、営業利益8億20百万円（前年同期比56.2%減）、経常利益8億90百万円（前年同期比54.1%減）、当期純利益3億80百万円（前年同期比65.1%減）の減収減益を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,456,750	7,517,136
売掛金	768	986
商品	1,071,469	1,141,794
貯蔵品	13,886	12,445
その他	344,853	342,302
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	8,887,668	9,014,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,830,721	6,993,919
土地	3,292,303	3,292,303
その他(純額)	860,992	667,685
有形固定資産合計	10,984,017	10,953,908
無形固定資産	317,211	325,668
投資その他の資産		
差入保証金	2,235,408	2,264,682
その他	779,145	760,385
貸倒引当金	△47,380	△46,910
投資その他の資産合計	2,967,174	2,978,158
固定資産合計	14,268,403	14,257,735
資産合計	23,156,072	23,272,341
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,648,444	4,615,996
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	117,298	165,300
賞与引当金	162,800	172,500
その他	1,229,798	1,233,248
流動負債合計	6,208,341	6,237,044
固定負債		
長期借入金	75,000	100,000
退職給付引当金	393,347	389,488
長期預り保証金	1,502,181	1,573,151
その他	244,158	248,946
固定負債合計	2,214,686	2,311,586
負債合計	8,423,028	8,548,630

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372,000	1,372,000
資本剰余金	1,604,090	1,604,090
利益剰余金	12,225,976	12,279,929
自己株式	△485,228	△546,857
株主資本合計	14,716,837	14,709,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,021	14,548
評価・換算差額等合計	14,021	14,548
新株予約権	2,184	—
純資産合計	14,733,044	14,723,711
負債純資産合計	23,156,072	23,272,341

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
売上高	43,733,033	41,455,922
売上原価	37,012,762	35,175,120
売上総利益	6,720,271	6,280,802
その他の営業収入	1,430,642	1,361,452
営業総利益	8,150,914	7,642,254
販売費及び一般管理費	7,447,703	7,351,101
営業利益	703,210	291,152
営業外収益		
受取利息	7,858	13,355
受取配当金	556	646
その他	22,533	35,943
営業外収益合計	30,948	49,946
営業外費用		
支払利息	3,212	2,416
収納差金	2,139	1,737
自己株式取得費用	1,724	—
その他	—	0
営業外費用合計	7,076	4,154
経常利益	727,082	336,945
特別利益		
固定資産売却益	685	0
長期未払金戻入額	—	3,990
特別利益合計	685	3,990
特別損失		
固定資産売却損	—	1,387
固定資産除却損	51,964	112,960
減損損失	—	60,524
その他	1,010	1,870
特別損失合計	52,974	176,742
税金等調整前四半期純利益	674,793	164,193
法人税、住民税及び事業税	262,870	96,925
法人税等調整額	32,745	△23,039
法人税等合計	295,615	73,886
四半期純利益	379,178	90,307

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	674,793	164,193
減価償却費	423,034	421,070
減損損失	—	60,524
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,010	470
賞与引当金の増減額(△は減少)	110	△9,700
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,450	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,707	3,859
受取利息及び受取配当金	△8,415	△14,002
支払利息	3,212	2,416
固定資産除却損	33,719	79,466
固定資産売却損益(△は益)	△685	1,386
売上債権の増減額(△は増加)	△75	218
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,079	68,883
未収入金の増減額(△は増加)	53,531	40,173
仕入債務の増減額(△は減少)	100,058	32,448
未払金の増減額(△は減少)	△7,514	△21,834
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,820	△61,378
未払費用の増減額(△は減少)	73,689	101,353
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△3,990
その他	△50,748	△48,067
小計	1,210,664	817,490
利息及び配当金の受取額	2,428	8,196
利息の支払額	△2,006	△1,275
法人税等の支払額	△683,677	△132,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	527,408	691,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△645,254	△609,053
有形固定資産の売却による収入	2,300	1,132
無形固定資産の取得による支出	△10,818	—
貸付けによる支出	△790	△3,055
貸付金の回収による収入	2,174	3,644
差入保証金の差入による支出	△25,930	△44,587
差入保証金の回収による収入	62,166	79,719
預り保証金の返還による支出	△64,640	△81,611
預り保証金の受入による収入	16,403	9,500
その他	△1,752	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△666,140	△644,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△25,000	△25,000
自己株式の取得による支出	△245,761	△3,363
自己株式の売却による収入	62,775	54,000
配当金の支払額	△134,547	△133,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342,533	△108,035
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△481,265	△60,385
現金及び現金同等物の期首残高	8,114,226	7,517,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,632,960	7,456,750

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)

	小売業 (千円)	不動産賃貸業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	44,711,200	452,476	45,163,676	—	45,163,676
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	44,709	44,709	(44,709)	—
計	44,711,200	497,186	45,208,386	(44,709)	45,163,676
営業利益	545,835	157,375	703,210	—	703,210

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要な内訳

- (1) 小売業……………食料品等の小売事業
- (2) 不動産賃貸業……店舗の運営、管理及び不動産賃貸業

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

	小売業 (千円)	不動産賃貸業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	42,378,777	438,597	42,817,374	—	42,817,374
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	44,709	44,709	(44,709)	—
計	42,378,777	483,306	42,862,084	(44,709)	42,817,374
営業利益	132,669	158,483	291,152	—	291,152

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要な内訳

- (1) 小売業……………食料品等の小売事業
- (2) 不動産賃貸業……店舗の運営、管理及び不動産賃貸業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)

当企業集団は国内に所在しているため、所在地別セグメント情報については、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

当企業集団は国内に所在しているため、所在地別セグメント情報については、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)

海外売上高に該当する取引がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

海外売上高に該当する取引がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。